

製品名: CYP4V2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09673**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	60kDa

抗原情報

遺伝子名	CYP4V2
別名	CYP4V2; Cytochrome P450 4V2
遺伝子 ID	285440.0
SwissProt ID	Q6ZWL3
免疫原	ヒト CYP4V2 の内部領域から得られた合成ペプチド。

背景

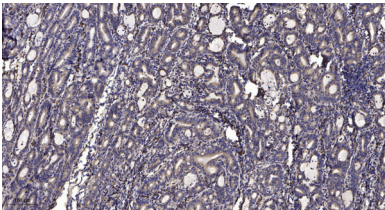
この遺伝子は、代謝経路における様々な基質の酸化に関与するシトクロム P450 ヘメチオレートタンパク質スーパーファミリーのメンバーをコードしています。脂肪酸前駆体から n-3 系多価不飽和脂肪酸への代謝に関与しています。この遺伝子の変異は、ビエッティ

型結晶性角膜網膜ジストロフィーを引き起こします。[RefSeq 提供、2008年7月]、補因子：ヘムグループ、疾患：CYP4V2の欠陥は、ピエッティ型結晶性角膜網膜ジストロフィー（BCD）の原因です[MIM:210370]。BCDは常染色体劣性遺伝性の網膜ジストロフィーで、眼底に散在する多数の網膜内結晶、網膜の特徴的な変性、脈絡膜血管の硬化を特徴とし、最終的には進行性の夜盲症と視野狭窄を引き起こします。ほとんどの症例で、角膜強膜輪部に類似した結晶が認められます。臨床的に、BCDは進行性です。患者は20代から40代の間に視力低下、夜盲、傍中心暗点を呈します。その後、周辺視野欠損と顕著な視力障害を呈し、通常は50代または60代までに法的失明に進行します。機能：不明。脂肪酸およびステロイド代謝に関与している可能性があります。類似性：シトクロムP450ファミリーに属します。組織特異性：広く発現しています。心臓、脳、胎盤、肺、肝臓、骨格筋、腎臓、脾臓、網膜、網膜色素上皮（RPE）、リンパ球で検出されます。、

研究分野

-

画像データ



パラフィン包埋ヒト胃腺癌の免疫組織化学分析。1、抗体を1:200に希釈（4℃で一晩）。2、抗原賦活化には Tris-EDTA、pH9.0 を使用。3、二次抗体を1:200に希釈（室温、45分）。